

那須みふじ幼稚園教育課程の編成と実施に関する評価(全教職員用)

平成30年度前期 平成 30年10月

評価基準:A=十分されている/そう思う

B=だいたいされている/ほぼそう思う

C=あまりされていない/あまりそうは思わない

D=されていない/そうは思わない

評価項目	観 点	具 体 的 目 標	回答数	満点	A	B	C	D	合計点	評価点
教育目標の設定	実態把握・目標の内容	教育目標に基づき、各年齢の「目指す子ども像」を明らかにし、保育内容を検討している。	14	56	2	11	1	0	43	76.8
教育目標達成の具現化	目指す子ども像への方策	月案(時期の指導計画)に「目指す子ども像」から見た配慮点を明記している。	14	56	2	8	4	0	40	71.4
発達の様子	教育課程編成の方針	教育課程が自園の「子どもの発達の様子」に基づいて編成されている。	14	56	2	10	2	0	42	75.0
ねらい内容の組織	ねらい、内容の組織の妥当性	期のねらいに基づいて、その時期に幼児に経験してほしいことが検討された教育課程となっている。	14	56	2	10	2	0	42	75.0
特色ある教育課程	発達に必要な経験行事との関連	園の特色が、幼児の実態を踏まえたものになっている。	14	56	2	12	0	0	44	78.6
		教育課程の「内容」や「行事」が、園の特色を反映したのものになっている。	14	56	2	11	1	0	43	76.8
教育課程の評価	保育を踏まえた教育過程の評価	期ごとに、教育課程と幼児の発達を照らし合わせて、評価を行い、計画等を改善している。	14	56	1	9	4	0	39	69.6
幼児理解	一人ひとりの発達	教師は、一人ひとりの幼児の発達を見取りながら保育をしている。	14	56	3	10	1	0	44	78.6
環境の構成 教師の役割	環境を通した保育	教師は、子どもが幼児期にふさわしい生活を送れるような環境を整えている。	14	56	1	12	1	0	42	75.0
		教師は、幼児が主体的にかかわるような環境を構成している。	14	56	2	9	3	0	41	73.2
		教師は、幼児が体を動かす楽しさを味わえるような環境を構成している。	14	56	2	7	5	0	39	69.6
		教師は、幼児が自然体験や社会体験など直接体験を通して学ぶ環境を構成している。	14	56	2	9	3	0	41	73.2
		教師は、理解者、共同作業、モデル、援助者、共感者、共鳴者などの役割を適切に果たしている。	14	56	2	11	1	0	43	76.8
道徳性の芽生え 知的な思考の芽生え 表現	生活習慣 人とかかわる力 思考、判断、表現	教師は、幼児自身が必要感をもって生活習慣を身につけていけるようにしている。	14	56	3	11	0	0	45	80.4
		教師は、保育の中で幼児が人とかかわる力を身につけていくようにしている。	14	56	2	12	0	0	44	78.6
		教師は、幼児が活動する楽しさを味わえるようにしている。	14	56	2	11	1	0	43	76.8
		教師は、幼児が表現する楽しさを味わえるようにしている。	14	56	2	10	2	0	42	75.0
		教師は、幼児が伝えあう喜びを味わえる	13	52	2	9	2	0	39	75.0
保育の評価	ねらいと一人ひとりの活動の照らし合わせ	一人ひとりの活動が保育のねらいに対してどう展開されていたかを評価し、次の保育に反映している。	14	56	2	8	4	0	40	71.4
教育課題への対応	協同的な学び 人権感覚	教師は、特に5歳児において協同的な学びを意識して保育している。	14	56	2	9	3	0	41	73.2
行事	発達を促す行事のあり方	教師は、行事を幼児の発達を促す機会と捉え、経験してほしいことを明らかにしている。	14	56	2	12	0	0	44	78.6
教育週数、教育時間	教育週数、教育時間の設定と確保	教育課程において年間39週を確保するようにし、幼児の心身の発達の程度にあわせた保育時間となっている。	14	56	5	9	0	0	47	83.9
合 計 点			307	1228	47	220	40	0	928	75.6

那須みふじ幼稚園の運営・経営に関する評価(全教職員用)

平成30年10月

評価基準:A=十分されている B=だいたいされている C=あまりされていない D=されていない

評価項目	観 点	具 体 的 目 標	回答数	満点	A	B	C	D	合計点	評価点
経営方針	教育目標達成の方針	園長は、教育目標達成の方針を明らかにしており、教職員はもとより、保護者や地域に説明し、理解されている。	14	56	2	9	3	0	41	73.2
園務分掌	内容の明確化、適格人材の配置	園長は、園務分掌の内容を明確にしてあり、職員の適性を考慮した配置としている。	14	56	2	10	2	0	42	75.0
学年・学級経営	計画と実施・評価	教育目標や園の特色を、学年や学級として検討し、経営案に反映させ保育を行い、評価している。	14	56	1	10	3	0	40	71.4
職員会議	計画的な運営と効率化	園全体で周知しておくことや検討が必要なことについて計画的に効率よく会議を行っている。	14	56	2	9	3	0	41	73.2
危機管理	危機管理組織の運営	園の危機管理について、体制やシステムが整っており、全職員が周知している。	14	56	2	6	6	0	38	67.9
	安全・衛生	幼児の安全や衛生の管理について必要な法律や基準について周知がなされ、方法について検討し実施している。	14	56	3	8	3	0	42	75.0
教職員の服務	服務の厳正	教職員としての服務について明確な意識があり、公務以外でも教職員として節度ある行動をしている。	14	56	3	10	1	0	44	78.6
園内研究・研修	計画的な実施 人材の育成	園長は、園内研修を一人ひとりの教職員の育成の場と捉え、特性を生かした園内研究・研修を計画的に実施している。	14	56	3	7	4	0	41	73.2
園外研究・研修	計画的な派遣・成果の共有	園長は、園外の研修を年間を通して計画し、教職員を派遣し、成果を共有する場を設けている。	14	56	2	8	4	0	40	71.4
情報の収集・整理 活用	情報の収集・整理・活用 個人情報の取り扱い	個人情報の取り扱いに配慮し、幼児の情報を適切に収集し、整理・活用している。	14	56	5	9	0	0	47	83.9
公文書等	收受・発送処理、保管・管理	公文書の管理や処理を適正に行い、決められた期限で保管・管理する。	14	56	6	8	0	0	48	85.7
諸表簿等	諸帳簿等の記載、保管 管理、活用	諸表簿等の記入および活用を適正に行い、指導要録の写し等については進学先に送付し、決められた期限で保管・管理する。	14	56	6	8	0	0	48	85.7
園地・園舎の施設 設備	整備計画、管理・活用	園地・園舎の施設・設備を計画的に整備し、複数の目で定期的に安全点検を行い、活用している。	14	56	9	4	1	0	50	89.3
遊具・用具・素材等の 整備・管理・活用	遊具・用具・素材等の 整備計画、管理・活用	遊具・用具・素材等の整備・管理・活用を計画的に整備し、複数の目で定期的に安全点検を行い、活用している。	14	56	7	5	2	0	47	83.9
予算編成・執行	予算編成・執行の適正	予算が適正に編成され、計画的に執行されている。	13	52	6	7	0	0	45	86.5
徴収金	その他の諸費用の徴収 会計処理	保護者からの徴収金の使途を明確にし、計画的に執行し、報告している。	11	44	8	3	0	0	41	93.2
親と子が共に育つ 幼稚園	未就園児への園庭開放	未就園児への園庭開放や子育て相談等を実施し、成果をあげている。	14	56	2	9	3	0	41	73.2
地域の子育てセン ターとしての機能	子育て支援 子育て相談等	預かり保育を子どもの育ちを支援するものとして実施している。	14	56	7	5	2	0	47	83.9
		子育て相談等の事業を積極的に広報している。	14	56	2	8	4	0	40	71.4
満3歳児保育	満3歳児保育の指導 計画の作成	満3歳児の指導計画を作成している。	12	48	1	6	5	0	32	66.7
幼・保・小連携	幼・保・小連携	地域や件の幼・保・小連携事業に積極的に参加し子どもの育ちを支援している。	14	56	4	10	0	0	46	82.1
学校評価結果の 説明	学校評価の実施と 結果発表	幼稚園の自己評価を行い、保護者や地域に結果を公表している。	14	56	5	9	0	0	47	83.9
合 計 点			302	1208	88	168	46	0	948	78.5